

## 令和2年度 第1回学校運営協議会 議事録【書面開催】

### ○ 出席者

- ・手塚 誠 櫻蔭会（本校同窓会）・会長
- ・松本 真哉 横浜国立大学大学院環境情報研究院・教授
- ・杉山 勝巳 横浜システム工学院専門学校・学院長
- ・青木 桂一 希望ヶ丘商店会・会長
- ・小竹 護 横浜市立希望ヶ丘小学校・校長
- ・山本 元雄 希望ヶ丘南地区山王塚自治会・会長
- ・渡部 一春 本校全日制 PTA・会長
- ・小林 佳子 本校定時制 PTA・会長
- ・諸岡 紀夫 神奈川県高等学校定時制通信制教育振興会・賛助会員
- ・宮地 淳 本校・校長

### <事務局>

- ・木村 則夫 本校・副校長
- ・佐藤 公彦 本校定時制・校務運営グループリーダー
- ・福士 徹也 本校全日制・広報・連携グループサブリーダー

### ○ 議 案

#### 1 学校運営協議会委員について

- ・希望ヶ丘南地区山王塚自治会会長交代に伴い、山本委員を選任。
- ・全日制 PTA 会長交代に伴い、渡部委員を選任。
- ・学識経験者として、諸岡委員を新たに選任。

#### [委員からの意見]

- ・了承し、異議なし
- ・委員の皆様方、学校運営に大変積極的に活動されていらして、素晴らしいと思う。特に昨年の定時制文化祭の際の積極的姿勢に感銘を受けた。

#### 2 学校教育計画及びグランドデザインについて

#### [委員からの意見]

- ・第2項「学校教育目標」と第4項「4年間の目標と主な方策」は素晴らしい。しかし、全日制・定時制共に、第3項「計画策定時点での課題」は残念である。もはや三校訓では無理である。第4項にある「気になる生徒会議」とは何か。グランドデザインはよくできている。

- ・希望ヶ丘高校といえば、東大をはじめとする難関大学合格率が高い名門校のイメージである。生徒や保護者の最大の関心事は進学であろう。その上で SSH と両立させることで、「新たな価値を創造できる人材」を育成できれば、素晴らしい教育機会に恵まれた学校といえるだろう。
- ・かつては、伝統校としての強み、他校とは違った自由な校風、横浜市中部学区随一の進学校としての魅力があった。しかし、現在の家庭環境から考えるときめ細かく指導する必要性がでてきているのは致し方ないといえる。SSH の取組（やはり SSH が現在の希望ヶ丘高等学校の魅力である）の充実を図り、生徒たちが高い志をもって、高校生活を送れるように指導していただきたい。
- ・育てたい子ども像「新しい価値を創造できる人材の育成」は、とてもよい。横浜市でも「未来を創造する子ども」を掲げて教育活動を展開している。横浜市内中学校出身だけではないと思うが、育てたい子ども像を「つなぐ」ことができるのは素晴らしい。
- ・素晴らしい。コロナによる分散登校等非日常が続く中、グランドデザインを柱に運営することを期待する。
- ・課題として記載されている「生徒の気質の変化」と「難関大学の志望者減」が気になる。大人がいろいろと考え指導したところで、最終的には、生徒がいろいろな事を自分の頭で考え前進する気持ちを持っていなければならない。その指導の反映が弱いように思う。「いかに自ら考え進むようになれるか」という点に指導の焦点があたることも必要である。

### 3 令和2年度学校評価報告書（目標設定）について

#### [委員からの意見]

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、学習時間が大幅に不足すると思われる。例年通りとはいかないのでやむを得ない。
- ・第4項にある「学校評価部会」などの「部会」の状況はどうなっているのか。
- ・コロナ禍の影響で、教育活動に制限が加えられ、新しい方法の模索を余儀なくされている。希望ヶ丘小学校との交流も本年度は、学習進度の保障、他校との交流制限等で残念ながら中止となった。今後のことも考え、できる範囲で、また間接的にでも交流を続けることができればと考える。（地域等との協働）
- ・細かく設定されているが、大変見やすい。
- ・全日制については、「いかに自ら考え進むようになれるか」という点に焦点をあてた指導を進路指導におけるキャリア教育などでどのように進めることができるか、という事が気になった。また定時制については、おそらくこれまでも地域などと連携した取り組みがあったと思うが、この協議会との連携をより進めて、多様な特性を持つ生徒の指導を進めることも重要のように思う。

#### 4 本校の現状について

##### [委員からの意見]

- ・県のガイドラインに従って、新型コロナウイルス感染症対策を進めていただきたい。しかし、登下校時や電車内での生徒たちの様子などを見ていると、学校内でソーシャルディスタンスを徹底しても、意味がないようにも思われる。私見としては、授業を正常化してもよいのではないかと。
- ・授業時間が不足する中で、受験やSSHに係る授業や行事等を控えている。修学旅行を実施予定のようだが、行わなければならない行事であろうか。三密が危惧される。
- ・生徒たちは、駅から学校まで交通量の少ない道路ではあるが、道路いっぱいになって登校している。少ないながらも車両も通行、横断しており、通学時の安全や態度等について不安である。
- ・時差登校について。現状のコロナ禍の状況をみると落ち着く気配はなく、今後も時差登校の継続を希望する。社会人からしても通勤時間に学生がいなことに安堵している。
- ・横浜市立学校でも夏休みを縮小（8月3日～8月16日）し、各種行事の縮小・中止を検討している。子どもたちの健康・安全は学校教育の中では大前提だが、学校生活の中で、部活動や行事、そして友だちとのふれあい等を通して、思い出が創られるものである。それに向かって意欲的に取り組んでいく子どもたちの姿を見ることが少なくなって残念である。
- ・コロナ禍で運営もイレギュラー対応になると思われるが、よろしく願います。
- ・今年は、今まで想定をしていなかった事態が続いており、社会全体が困惑を抱えたまま様々なことが進んでいる状況である。ただ高校生にとっては、各学年の経験は、彼らにとって人生の中でただ一度の機会になることもあり、教員の皆さんが苦慮しながら教育活動を進めておられると考えている。大学関係者として、遠隔対応にはなると思うが、できる限り尽力できればと考えている。引き続きよろしく願います。

#### 5 その他

- ・第2回学校運営協議会の開催は、11月3日（土曜日）の予定。当日は、定時制の文化祭を実施。